



オリーブ通信

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>

2018年
1月号
2018.1.20発行
第195号

12月15日の「介護の現場で活躍する外国人の語り」に参加して

日本に来て6年3か月、現在2歳の女の子を抱え、介護に携わっておられるフィリピン人のリンさんのお話が特に印象に残りました。子育てをしながら日本語研修100時間と介護職員初任研修130時間(必修)を修了し、平成29年の初めから9名のグループホームで介護の仕事をされているそうです。

職場で他の人とコミュニケーションができるようになり、自分が外国人だと思ったことがない。また、お世話をした人に「ありがとう」と感謝の言葉を言われた時がとてもうれしいです。とても良い職場に勤められてよかったと終始笑顔で話されていました。

しかし、他の人の書いた字がよく読めないことや、悩みを話せる仲間がいないなどの悩みもあるそうです。また、入浴やトイレのお世話の分担が決まっていないので他の職員よりも多く回ってくるので仕事が終わるととても疲れてしまうと話されました。

入浴やトイレの仕事の分担について所長さんに相談してみたらどうですかと話したら、誰にも言えないことを聞いてもらえてよかったと喜んでいただき、働く外国の方への配慮がもっと必要だとつくづく考えさせられました。

(内田千恵子)



中川先生のへんてこ日本語 90

草津駅はどこですか

前から歩いてくる人に、いきなり「草津駅はどこですか」と問いかけても、だれも返答してくれない。会話を成立させるためには、「あのー、すみません、草津駅はどこですか」などと、会話開始のための働きかけが必要である。また会話の終了には、「わかりました。ありがとうございます」などの挨拶が必要であり、ここで相手を解放することになる。

日本語の会話練習で、「草津駅はどこですか、京都駅はどこですか」とひたすら暗記するだけでは、会話はできるようにならない。つまりコミュニケーションを成立させるためには、ただ一文だけではなく、会話の開始から終了までの一連の「談話」の流れを体験しなければならぬことになる。

先日ベトナムの高等教育機関を視察してきた。現地のガイドさんの日本語について、同行した日本人(非日本語教師)に聞いてみたところ、口を揃えて「めっちゃうまい」という。確かに冗談を交えたり、聞き手の心をつかむという点では「うまい」。しかし「きのう〇〇を食べました。おいしかったです」など、すべてが「です。ます」体の単文の連続で、接続詞を使ったり、連体修飾を用いたり、の複文・重文構造をなしていないことが気になった。

お世話になったガイドさんの日本語を評価するのは申し訳ないが、職業柄、気になってしまふ。つついガイドという職業から暗記するという学習法を身に付け、お客様に情報を与えるという一方の日本語能力には長けているのだから、「談話」の展開に注意が払えるようになると、評価は高くなると感じた。「超越」した日本語能力を身に付けるには、談話能力の獲得が目指されなければならない。



京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄

年賀状を書きましょ

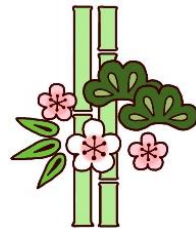
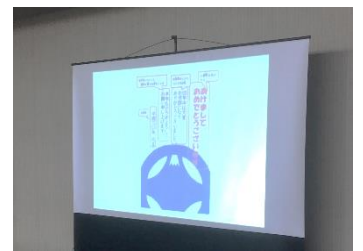
12月16日、約40名の外国人生徒が参加して年賀状作りに挑戦しました。

まず吉田先生が年賀状の写真を見せて、新年の挨拶として、どのような言葉を書くのか、そして十二支や松竹梅、鶴亀、富士山など、年賀状によく描かれる「縁起物」や「めでたい柄」の意味を説明しました。

生徒たちは、それぞれのテーブルの先生方に手伝ってもらいながら見本にあわせて漢字とひらがなで年賀状の挨拶を書く練習をしました。その後、自分の好きな色の折り紙と好きな柄(富士山、扇、梅など)の型紙を選んで、めでたい柄の切り絵を作成。ハサミで型紙に合わせて細かい柄を切り出していくのは少し難しかったですが、切り終わって広げてみると、それぞれ自分で思っていた以上にきれいに出来上がっていました。皆、面白くなって熱中して他の柄の切り絵にも挑戦しました。特に「梅」の柄は女性に一番人気があったようです。

最期に各自2枚、本物の年賀はがきをもらって、練習した挨拶を書いて切り絵を貼り、

あて先には日本語の先生や友達の住所を書いてオリーブがまとめて発送しました。



お正月、たくさんの年賀状の中に生徒が作ってくれた年賀状を発見し、当日わいわいと皆で楽しく制作していた雰囲気を思い出して嬉しくなりました。先生たちや思いがけず生徒たちからの年賀状を受け取った他の皆さまも、きっとびっくりした後に「がんばって作ったんだろうなあ」と暖かい気持ちになられたことと思います。今年も日本人、外国人、共に協力しあって良い一年となりますように。(遠藤純江)



フィジー諸島へ滞在

福井佑輔

オセアニアにあるフィジーという国を訪れたことがあります。3年前に語学留学で1か月滞在しました。物価は安く銃も持たない平和で年中常夏の小さな国です。首都のスバでさえ少し貧しさが垣間見えますが、フィジーの方達は皆おおらかで優しく家族のように接してくれました。

フィジーの方達の朝はのんびりで、仕事は遅刻するのが当たり前ですが誰もそれを咎めようとはせず「フィジータイム」の一言で済まされます。「フィジータイム」とはフィジーでは時間にルーズでもいいからのんびり過ごそうという意味で使用され、お土産のマグカップなどにもこの言葉はプリントされているくらい主流の言葉のようです。もちろんフィジー国外の方もフィジーに滞在している間はゆっくり過ごす為にも多用してほしい言葉でもあるそうです。

フィジーではパソコンやゲームなどの電気機器が普及しておらず、子供達は休日、特に何することもなく家でゆっくりと過ごす為、一見退屈そうに見える国ではありますがフィジーは世界幸福度ランキングでダントツの1位の国です。

フィジーの方々はアメリカなどの優雅な暮らしに憧れているとおっしゃっていましたが、それと同時に、この世に生まれてきたことと家族が側にいる、それだけで幸せであるとも話してくれました。

そんなフィジーの方々の1番の楽しみは日曜日、教会に集まりキリストへお祈りをする事とお伺いしました。そこでは家族や命などのこの世の全てに感謝し、愉快地に歌を歌いながら一日中お祈りをします。私も縁があって教会にお世話になりましたが楽しく笑いながら歌う方もいれば、祈りながらも生きていることに感謝し涙する方も見えました。その後は皆で食事をし、ギターを弾きながらR&Bやブルースを円になって歌っていました。円の中心には大きな泥水のような飲み物「ガヴァ」が置いてありお客様が来た際や祭のときに皆で飲むものですが、ガヴァはほとんど土のような味で美味いとは程遠い飲み物でした。(フィジーの方々は好物として飲むそうです)数リットルあるガヴァを1人で飲んでほしいと頼まれましたが、ガヴァを断ることは作法としきたりに反するとされ、そして何より「好物の飲み物をお客様へいっぱい飲ませることができるとい嬉しそうな顔でガヴァを渡され、断ることはできませんでした。

フィジーでは「フィジータイム」という言葉を使わせていただき、時の流れるのを忘れ、家族のことを考えさせられ、自由気ままにのんびりと過ごすことができました。朝になると太平洋に緑の海が広がり、夕方には真っ赤な夕日が沈みます。フィジーは南半球に位置していることもあり、夜になると星が360度に散りばめられ自然にも大変恵まれた居心地のよい場所でした。

日本では時間の概念が厳しいですが、それは日本の良さであり、時間にルーズなフィジーもまた良さであると思いました。フィジーにはこれといった観光名所はありませんが、たまにはフィジーのような時の流れを忘れることができ場所へ行くのもいいものだなと思う滞在でした。



首都スバ

首都は歩いて全て回れるほどの小さな町。スーパーの牛乳は常温で保管され、毎日野菜などのマーケットも開催されている



教会

神様にお祈りを捧げる場。あまり神聖感はなく携帯の使用は可能で、お祈り中に電話している方も…途中退出や途中参加も可能な自由なお祈り



夕暮れ

太平洋に沈む真っ赤な夕日。地球は少し傾いている為、南半球は太陽の光のあたり方が北半球とは違いより赤くうつるそうです



先月の活動(12月)

日本語教室 12/2(M),9,16 (3回)
 まちセン全体会 12/1(金) (前田)
 KIFA 日本語指導者養成講座 12/3(日) (恩地・津田)
 介護の現場で活躍する外国の人の語り 12/15(金)
 (恩地・内田千・後藤・花岡)
 BNN 運営委員会 12/9(土) (内田幸)



今月の活動予定(1月)

日本語教室 1/6(M), 13, 20, 27 (4回)
 BNN運営委員会 1/7 (日) (内田幸)
 KIFA 文化庁事業ネットワーク会議 1/11 (木) 恩地
 まちせん施設部会 1/18(木) (前田)
 KIFA 多文化共生フォーラム 1/21 (日) 恩地
 まちせん周年イベント 実行委員会 1/22(月) (前田)

●日本語教室の(M)は定例ミーティング ●()内は参加者、または 参加予定者。敬称略



参加人数(12月)

	12/2	12/9	12/16
生徒	23人	31人	39人
先生	22人	23人	14人



会員の動き(12月)

〈入会〉なし
 〈退会〉なし



お知らせ

多文化共生フォーラム

～多様性をもたらす豊かな地域社会へ～

日時：2018年1月21日(日) 13:30~16:00

場所：草津市役所 特大会議室(2F) 予定

定員：60名(先着順)

内容：①先進地事例発表&外国人体験発表と
 ワークショップ

参加費：無料

申込み：草津市国際交流協会(KIFA)

077-561-2322

kifa-japan@coda.ocn.ne.jp

12月の新入会の学習者

*写真が間に合わず、お名前だけの紹介になります。

グエン・マン・ズン(ベトナム)

フン・バー・チェン(ベトナム)

宮本 アレックス(イギリス)

ペニーラ・アンドレイ(フィリピン)

カンティ・スリヤスティカ(インドネシア)

ゴィ・ティエム・フォック(ベトナム)

李江(中国)

第14回 BNN

外国人による日本語スピーチ大会

日時：2018年3月4日(日) 12:40~16:30

場所：ひこね燦(さん) ぱれす

内容：第1部 外国人による日本語スピーチ大会

第2部 交流会

参加費：無料 申し込みもいりません

問合せ：びわこ日本語ネットワーク事務局

077-523-1061

bnn.biwako@gmail.com

まちセン周年イベント

日時：2018年3月3日(土) 13:00~17:00

場所：まちづくりセンター

内容：

ステージ発表(301と302)

体験コーナー

吹矢(4時から15時半まで・309)

着物体験(13時半から16時まで・208)

喫茶コーナー(13時~17時まで・301)

コーヒーやお菓子などのフリーサービス

17時10分から18時半まで、交流会があります。

参加希望者は前田さんに今月末までに連絡してください。



〈編集後記〉

1月20日の「あなたの国の行事と食べ物」の準備のために、いろいろな学習者さんと話をする機会がありました。初めて名前と顔が一致した人ばかりです。思えば、毎週、自分の受け持つ学習者さんに教えるのに必死で周りを見る余裕がありませんでした。ハイキングやこんなイベントで話をする機会があるのは大切ですね。(カイツブリ)

